

第4 施策推進の基本的な考え方

次期北上市総合計画基本構想では、北上市の将来像を実現していくため、6つの政策の基本目標を設定し、その中で、「子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり」を目標に掲げています。

北上っ子すくすくプランは、この目標を踏まえて、施策の基本的な考え方を定め、計画を推進していきます。

■ 基本目標

『男女がともに子育てや家庭に夢を持ち、
次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり』

国においては、次世代育成支援対策推進法による次世代育成支援の迅速かつ重点的な推進、少子化社会対策大綱では若者の自立とたくましい子どもの育ち等の重点課題を提示して子育て応援プランを実施しています。

さらに、結婚や出産・子育てに対する希望と現実の乖離に焦点を当てた、子どもと家族を応援する日本重点戦略では、就労による経済的自立が可能な社会、健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、多様な働き方・生き方が選択できる社会を目指す、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章を掲げています。

本市では、出生率が国・県に比べて高く推移していますが、少子化傾向が進んでいます。子育て支援対策は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭その他の場において、子育ての意義についての理解が深められ、かつ、子育てに伴う喜びが実感されるように配慮していく必要があります。

このため、基本目標を前期計画に引き続き「男女がともに子育てや家庭に夢を持ち、次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり」とします。

■ 基本的視点

基本目標の実現に向けて施策を総合的に推進していくため、基本的視点を次のとおりとします。

○ 家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり

1 社会全体による支援の視点

次世代育成支援対策は、企業や地域社会を含めた社会全体で協力して取り組むべき課題であることから、様々な担い手の協働の下に対策を進めます。

2 地域における社会資源の効果的な活用の視点

子育てサークル、母親クラブ、自治会等の団体や主任児童委員、民生児童委員等の活動及び子育て支援で地域貢献を希望する高齢者等社会資源を効果的に活用します。

3 サービスの質の視点

サービスの質を評価し向上させていく視点で、人材の資質の向上を図るとともに、情報公開やサービス評価等の取組みを進めます。

4 地域特性の視点

人口や産業等地域の特性は様々であり、利用者のニーズも多様化・複雑化していることから、各々の特性を踏まえた取組みを進めます。

○ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

1 次代の親づくりの視点

子どもは次代の親になる認識の下に、豊かな人間性を形成し、自立して家庭を持つことができるよう、長期的な視野に立った子どもの健全育成のための取組みを進めます。

2 サービス利用者の視点

核家族化や都市化の進行等社会環境の変化や価値観、子育て支援ニーズの多様化に対応できるよう利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な取組みを進めます。

3 仕事と生活の調和実現の視点

結婚や子育てに関する希望が実現される社会にするため、仕事と生活の調和実現を社会全体で取り組むことを進めます。

○ 子どもが健やかに育っていける環境づくり

1 子どもの視点

子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配

慮することが必要であり、子育ては男女が協力して行うべきものとの視点に立った取組みを進めます。

2 すべての子どもと家庭への支援の視点

社会的養護を必要とする子どもや虐待等の子どもの抱える背景の多様化に対応できる体制の整備、家庭的な養護、自立支援強化の取組みを進めます。

第5 施策の基本方向

基本目標を実現するための基本的視点から、次の施策の基本方向により施策の推進を図っていきます。

- 1 地域における子育て支援
- 2 母親並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進
- 3 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備
- 4 子育てを支援する生活環境の整備
- 5 企業における子育て支援の推進
- 6 子ども等の安全の確保
- 7 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進